

環境経営レポート

対象期間 令和4年4月1日～令和5年3月31日

令和 5年 6月 30日 発行

関東建設株式会社

1. 組織の概要

・事業者名および代表者

関東建設株式会社
代表取締役 濱田 穂

・所在地

本社 : 〒176-0023 東京都練馬区中村北2丁目8番10-101号

・創立日：昭和62年11月6日

・資本金：3000万円

・環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者代表取締役 濱田 穂 電話：03-3999-3920 FAX：03-3999-9398
Eメール； kanto@athena.ocn.ne.jp

担当者 代表取締役 濱田 穂 電話：03-3999-3920 FAX：03-3999-9398
Eメール； kanto@athena.ocn.ne.jp

・事業活動の内容

建設業（道路舗装、水道工事、とび・土工、土木工事）

・許可内容

許可番号：東京都知事（特一 4）第77996号
許可期間：令和4年10月13日～令和9年10月12日
建設業の種類：道路舗装、水道工事、とび・土工、土木工事

・資格

1級土木施工管理技士 2名
2級土木施工管理技士 2名

・免許

小型車両系建設機械運転特別教育 2名
締固め用機械（無制限） 2名
小型移動式クレーン運転（5t未満） 2名
玉掛け技能講習 2名
酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者 1名

・産業廃棄物収集運搬業の許可内容等

ア. 許可の内容：

許可自治体	許可番号	許可年月日	許可の有効年月日	業の区分	産業廃棄物の種類
東京都	第13-00-122109号	令和2年10月24日	令和7年10月23日	収集・運搬（積替え保管を除く）	汚泥、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、金属くず、ガラス・コンクリート・陶磁器くず、がれき類（石綿含有産業廃棄物を含む）
埼玉県	01102122109	令和2年12月22日	令和7年12月7日	収集・運搬（積替え保管を除く）	がれき類

イ. 運搬車両の種類と台数：

3tトラック 1台

・事業規模

		全社
従業員数	人	5
延床面積	m ²	80

受注工事件数 9件／年（令和4年5月1日～令和5年4月30日）

売上高 2.28億円（令和4年5月1日～令和5年4月30日）

・対象事業所 : 本社

・対象活動 : 全活動

2. 環境経営方針

環境経営方針

理念

関東建設株式会社は、お客様や社会から信頼と満足をされる建設工事を提供するにあたり、環境と調和した企業活動を行い、循環型社会の実現に貢献します。

方針

1. 環境経営に積極的に取り組むために、環境経営システムに取り組み、環境関連の法令、条例等を遵守すると共に、地域・業界・顧客の環境関連要求事項に配慮し、継続的な環境活動の改善を図ります。
2. 環境への取組として、環境目標及び行動計画に下記の重点事項を定め、環境経営方針に整合した活動を行います。
 - 1) 電力及び燃料使用の省エネルギーに取り組み、二酸化炭素排出量の削減を推進
 - 2) 再生資源の利用・廃棄物の分別に取り組み、廃棄物排出量の削減を推進
 - 3) 現場・作業場の用水利用の管理に取り組み、排水量・水使用量の削減を推進
 - 4) 環境負荷の少ない工事・作業を実施
 - 5) 社員へ環境負荷の少ない施工技術の継承
3. この環境経営方針を社員に周知し、環境への貢献、環境負荷の軽減に取組、環境経営活動に努めます。

令和3年2月1日

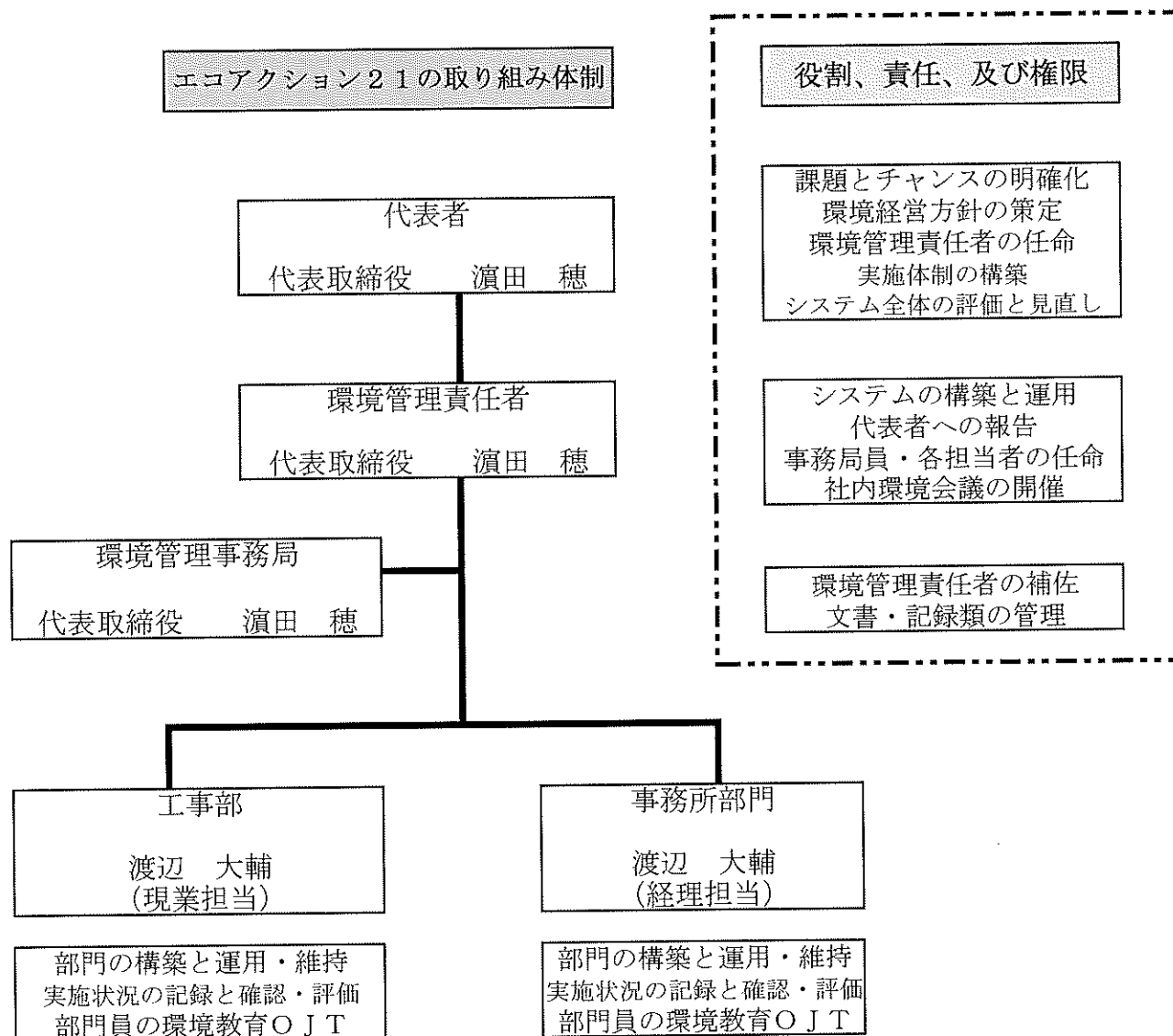
関東建設株式会社

代表取締役 濱田 穂

3. エコアクション21実施体制

令和5年5月31日現在

実 施 体 制



4. 中期環境目標（令和4年～令和6年）

環境目標		令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
	目標値	(基準年)	0.1%削減	0.15%削減	0.2%削減
	単位				
二酸化炭素排出量の削減	kg-CO ₂	7925.14	7917.21	7913.25	7909.29
電力使用量の削減	kWh	2511.00	2508.49	2507.23	2505.98
燃料使用量の削減(ガソリン)	ℓ	495.52	495.02	494.78	494.53
〃 (軽油)	ℓ	2093.66	2091.57	2090.52	2089.47
〃 (都市ガス)	m ³	49.00	48.95	48.93	48.90
廃棄物排出量の削減					
一般廃棄物の削減	t	3.48	3.48	3.47	3.47
産業廃棄物のリサイクル率アップ	%	100	100	100	100
用水使用量の削減					
用水使用量の削減	t	7.00	6.99	6.99	6.99
環境に配慮した工事					
低騒音機材の使用	使用率	100%	100%	100%	100%

電力の二酸化炭素排出係数は、東京電力令和3年実排出係数0.457kg-CO₂/kWhを使用した。
次回から電力の二酸化炭素排出係数は、東京電力令和3年調整後排出係数0.456kg-CO₂/kWhに変更

5. 運用期間環境目標と実績

当社の環境負荷削減のため、環境目標を設定し、活動した。

活動期間：令和4年4月 ～ 令和5年3月

環 境 目 標 と 実 績 ・ 評 価 (令和4年4月 ～ 令和5年3月)

環境目標	単位	基準年 令和3年4月 ～令和4年3 月 実績値	(削減率)0.1%	目標値	令和4年4月 ～令和5年3 月 実績値	評価
二酸化炭素排出量の削減	kg-CO ₂	7925.14	0.1%削減	7917.21	6540.22	○
電力使用量の削減	kWh	2511.00	0.1%削減	2508.49	2717.00	×
燃料使用量の削減(ガソリン)	ℓ	495.52	0.1%削減	495.02	409.91	○
燃料使用量の削減(軽油)	ℓ	2093.66	0.1%削減	2091.57	1586.31	○
燃料の削減(都市ガス)	m ³	49.00	0.1%削減	48.95	118.00	×
廃棄物排出量の削減						
一般廃棄物の削減	t	3.48	0.1%削減	3.48	3.70	×
産業廃棄物のリサイクル率アップ	%	100%	100%維持	100%	100%	○
用水使用量の削減						
用水使用量の削減	m ³	7.00	0.1%削減	6.99	10.00	×
環境に配慮した工事						
低騒音機材の使用	使用率	100%	100%維持	100%	100%	○

電力の二酸化炭素排出係数は、東京電力令和3年実排出係数0.457kg-CO₂/kWhを使用した。(目標値)

次回から電力の二酸化炭素排出係数は、東京電力令和3年調整後排出係数0.456kg-CO₂/kWhに変更

[凡例]

- × 削減率未達成
- 削減率達成

【評価】

施工現場が近く、移動距離が短いので車輛燃料費は減少したが、その他の光熱費は増加した。
夜間工事の為、会社での待機時間が長く、光熱費が増加したと考えられる。
但し、全体的にみるとCO₂排出量は減少した結果となった。

6. 環境活動計画、取組の結果とその評価、次年度への取組

環境目標	取組み	結果	評価	次年度取組
二酸化炭素排出量の削減	エアコン温度管理	換気の為、温度管理の調節が出来なかった。	×	継続して実施 夏27℃、冬20℃の維持
	OA機器の電源オフ	書類作成の為、パソコンを長時間使用した。	○	パソコンを使用しない時は、電源オフにする。
	エコドライブ	エコドライブを意識して運転をする。	○	継続して実施
廃棄物排出量の削減	分別廃棄	リサイクル、不燃ゴミ、可燃ゴミの分別が徹底	○	継続して実施
	産業廃棄物のリサイクル率アップ	100%実施の維持	○	継続して実施
総排水量（水使用量）の削減	節水ポスターを貼る	現場での使用量が増加した。	×	節水を心がける。
工事での環境配慮	低騒音重機の選択	リース契約	○	継続して実施

7. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、訴訟等の有無

主要な法規	確認内容	評価の結果
廃棄物の処理と清掃に関する法律	産業廃棄物のマニフェスト管理	確実に実施された。
	マニフェスト交付一覧報告(6月迄)	本年6月報告
練馬区条例	契約書の確認	問題なし
	保管所技術基準の遵守	確実に実施された。
	事業系一般廃棄物の有料シール貼り付け	確実に実施された。
家電リサイクル法	家電リサイクル券の購入	期間中の廃棄なし
建設リサイクル法	リサイクルの推進	建設副産物情報交換システム工事登録で作成し、施工計画書に計画書と竣工書類に実施書を添付した。
道路交通法（練馬区条例）	工事着工前の届出	道路使用許可申請書を提出し、許可された

環境関連法規への違反はありません。なお、関連当局よりの違反等の指摘は、過去3年間ありません。訴訟もありません。

8. 代表者による全体評価の見直し結果

施工現場が近く、移動距離が短いので車輛燃料費は減少したが、その他の光熱費は増加した。夜間工事の為、会社での待機時間が長く、光熱費が増加したと考えられる。但し、全体的にみるとCO2排出量は減少した結果となった。